

# 委員長ら二人処分

## 東教大理学部 無期停学に

東京教育大学理学部は十五日教授会を開き、同学部自治会（代々木系）の金子文司委員長、南宮和夫副委員長の二人の無期停学処分を決定した。さらに約十人の自治会常任委員についても処分する方向で検討を進めている。

学生処分は、さきに関東大学であったが、国立大学で処分が用いられたいは、これが初めて。

同学部では教育措置検討委員会

4/16ヨミウリ 朝刊

### 理学部正副委員長処分了承

東京教育大学は十八日の評議会、東教大評議会

で、さきに理学部教授会が決定した同学部自治会（代々木系）の金子文司委員長、南宮和夫副委員長の無期停学処分を承認した。

これに、処分理由書を添付した。処分は正式に発効することになるが、理学部長は、処分問題について態度を明らかにしていない。教育、同学部との足並みの調整を図るため、処分通知時期を慎重に検討している。

4/19ヨミウリ 朝刊

4/19サンケイ 朝刊

### 東教大理学部で2学生処分

東教大理学部で初争がつづいている東京教育大学の理学部教授会（宮島副学部長）は、同学部学生自治会（反日共系）の金子文司委員長（同三年）、南宮和夫副委員長（同二年）の二人を無期停学処分にすることを決め、十八日ひらかれた評議会に報告した。

処分の理由は「金子委員長は多数の学生をいっしょにならして教授らの登壇を阻止、大学の最大目的である研究と教育を妨害した」というもの。近く金子委員長らに通知するが、この処分はあくまで教育目的のもので、処分後の処分解除もある。しかし、この間に不法行為を繰り返した場合は退学処分になりかねない。

# 東教大も機動隊導入

## 8カ月ぶりに封鎖解く

浜松山ろく学問都市移動問題がこじれ、学部教授会間の対立や学園封鎖が起きて入試を中止した東京・大塚の東京教育大学（宮島副学部長代行）は二十八日「大学再

建には学生の不法占拠を止めさせるのが第一条件」との宮島学長代行の決断で、警視庁に警隊による占拠学生の排除を要請。警視庁は同日午前十時半、機動隊五

り除いた。機動隊が到着したとき、占拠していた学生はほとんどは機外に去って抵抗はなく、正門付近に「脱学生」を含めて「警官帰れ」のシュプレヒコールをした。

また学生二人が三枚投げるし上げ事件にちなみ不法占拠、暴力行為の警備で、またもう一人を公務執行妨害で逮捕した。

宮島学長代行は、前日の二十七日、教員、学生に対し「浜松山ろく

く形骸は絶対に実現する」と所信を表明、反対を続ける文学部教授会の意向を無視する強硬な態度を打ち出した。

この日の夕方封鎖解除で昨年六月末から八カ月続いた学問都市閉鎖学生の学園封鎖は一応リセットを打った。文学部教授会と大学執行部との決裂は決定的となり、授業再開への道は、さらにけしめんな

### 授業再開困難

東教大文学部

東京教育大学の入江勇男文学部長は二十日、東京・渋谷の山手教会で開かれた全学闘争委員会の教育部長集会的席上「現在のロッキアウト状態が解かれても、文学部自治会闘争委員会の同意がなければ、授業再開はしないつもりだ」と発言した。これは文学部教授会が、現在公式に表明している「ロッキアウト解除まで授業再開はしない」とをさらに一歩進めたもので、この入江発言を重視した同学部は、きよう二十一日午後

5.21ヨミウリ 夕刊

5.25ヨミウリ 朝刊

### 入江学部長 信任される

東教大文学部教授会

東京教育大学文学部は二十四日の教授会で、きよう二十一日「たとえロッキアウトが解かれても、文学部自治会闘争委員会の同意がなければ授業再開しない」と発言した入江勇男文学部長を、学部長として支持するかどうか採決、四十六対八で信任することになった。これでロッキアウトを解除されても授業がしばらくストップする可能性が強くなった。

入江発言は、文部省との討議集会的席上出たもので、それまで同学部が公式に表明していた「ロッキアウト中は授業をしない」と一歩進めた重要な意味を持つもの。